

豊平地区 学校配置検討委員会ニュース

発行
2023年11月

豊平地区では、旭小学校の小規模化による課題の解決等のため、令和5年2月より「学校配置検討委員会」（以下、「検討委員会」といいます。）を設置し、検討を進めております。

この度、令和5年9月7日に第3回学校配置検討委員会を開催いたしました。協議内容につきまして、地域の皆様へお知らせしますので、是非とも多くのご意見をお寄せください。

検討委員会の配布資料等については札幌市教育委員会のホームページに掲載しています。



<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/toyohira.html>

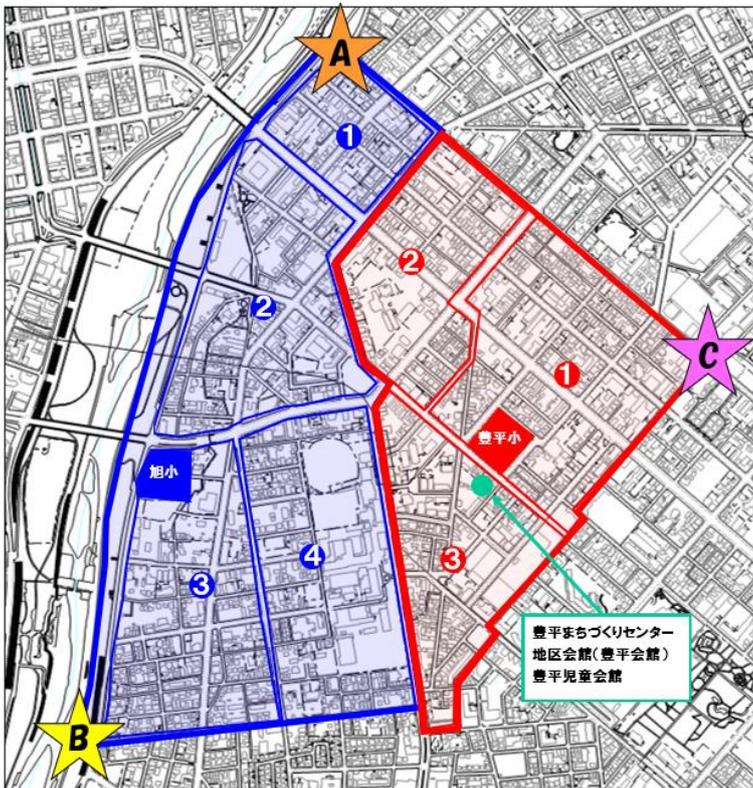
※第2回検討委員会の後、計5件のご意見等が寄せられました。第3回検討委員会の資料として検討委員会内で共有しております（上記HPで公開）。内容に応じた協議の中で参考とさせていただきます。

協議事項1 統合する場合に活用する学校の諸条件比較について

※第3回検討委員会にて、旭小と豊平小を統合する場合に活用する学校敷地について、諸条件をオープンに比較検討した上で、次の議論に進むべきではないかとの意見があったため、下記資料に基づき協議を行いました。

※教育委員会としては校区内の人数、避難所としての観点から豊平小敷地の活用を取組案として提示しております。

【当日配布資料3】



1 旭小・豊平小敷地・校舎等の比較

	旭小	豊平小
開校年次	1955年(昭和30年)	1881年(明治14年)
校舎建築年	1981年(昭和56年) ※築42年	1978年(昭和53年) ※築45年
R5年児童数/学級数	211人/8学級	346人/12学級
※()内は特別支援学級	(14人/3学級)	(17人/3学級)
R10年推計児童数/学級数	175人/8学級	332人/12学級
※普通学級のみ		
敷地面積	14,088㎡	11,900㎡
児童会館	ミニ児童会館	校舎向かいに豊平児童会館
改築時複合化	要検討	まちセン・地区会館・児童会館
指定緊急避難場所※参考資料参照		
洪水	使用不可	○
土砂	使用不可	開設しない
地震	○	○

2 旭小・豊平小への通学

① 旭小・豊平小児童分布について

旭小	旭小		豊平小	豊平小	
	児童数	うち小1～2		児童数	うち小1～2
①	22人	8人	①	126人	42人
②	72人	27人	②	97人	26人
③	52人	19人	③	75人	31人
④	68人	22人			

※R5年時点 区域外通学者を除く

② 旭小・豊平小への最長通学距離

	距離	通学にかかる時間
☆A→豊平小	約1.4km	約28分
☆B→豊平小	約1.6km	約32分
☆C→旭小	約1.9km	約38分

※分速50mで計算

意見・質疑応答の概要

※類似の発言内容をまとめるなど文言を整理して掲載しています。

※「●」・・・委員からの意見、質問等

※「⇒」・・・委員、札幌市・教育委員会職員からの説明、回答

敷地の条件比較について

- 豊平小の敷地は利便性が良く、大きいマンションの建設など跡地の利用価値が高いと考えられる。旭小は奥まったところであって跡地利用が難しいため、豊平小を旭小に統合した方がいいという考え方もあるのではないか。
- 旭小敷地は、洪水浸水想定地域なので、豪雨の場合は水浸しになる恐れがある。防災の観点から見ると、旭小を豊平小に統合する教育委員会の取組案のようになるのはやむを得ない。
- 旭小と豊平小のちょうど真ん中くらいにある豊陵公園の敷地に統合した学校を造るという検討はなかったのか。
- 旭小は元々豊平小の校区を分離して開校した経緯があるので、元の校区に戻るというのが自然なのではないか。旭小とか豊平小の2校のことだけではなく、豊平区全体や札幌市全体のことも考える必要がある。
- 豊平小の改築を前提とせず、現状の学校についてフラットに比較検討すべき。

⇒【教育委員会】

- ・教育委員会としては、跡地の利用や過去の経緯よりも、今後の教育環境、通学状況を重視して検討いただきたいと考え、より通学するのに便利な児童が多いということから、豊平小敷地の活用を取組案として提示させていただきました。
- ・また、避難所としても、豊平小敷地の方が水害時に活用可能と考えています。
- ・豊陵公園は位置的にはちょうど校区の中心にありますが、学校敷地としては面積が小さく、学校敷地とするのは難しいと考えています。

通学について

- 通学路について、実地調査をしてはどうか。
- 除雪の状況も大切なので、冬季間の実地調査も検討してもらいたい。
- 北海学園の敷地を通行することは認められているが、通学路とするには道路でなければならないという教育委員会の説明だったが、北海学園が良いというならば、北海学園敷地内通路を道路に準じて取り扱い、通学路としてはどうか。

⇒【教育委員会】

- ・北海学園敷地の通行については、北海学園事務局の方とも意見交換をしており、通ることについて問題ないとのことをお話をいただいておりますが、実際に敷地内を通る場合の安全面の確保などは、別途検討する必要があると考えています。
- ・統合後に想定される通学路の安全面で気になる点について、実際に委員の皆様や関係者の方々とで、現地を見て検討する機会を設定させていただきたいと思っております。

協議事項2 校区と統合案について

校区について

- 現在旭小と豊平小の2校で検討しているが、東園小・みどり小・中の島小・八条中などの複数の学校で校区の見直しを行うのはどうか。
- 現在豊平小校区となっている中で、(資料3の)②の区域を、旭小校区とすれば小規模化が解消するのではないか。
- 旭小校区から豊平小への区域外通学が多いため、旭小から児童が減ってしまい、旭小の小規模化が進んでいるのではないか。
- 豊平小が新しくなるという噂や、豊平小に給食室が無くなったことで統合が決まったかのような噂が流れ、旭小校区に住んでいるにも関わらず豊平小に児童を通わせようという動きが出ているのではないか。
- 校区再編で一旦小規模化を回避する考え方もあるが、短期的な小規模化解消となるだけなので、そういった方向で検討しない方がいいのではないかと思う。

⇒【教育委員会】

- ・ 旭小校区内には、中の島小の方が近い地域もあり、校区の一部について、中の島小校区に変更するということは検討可能と考えます。ただ、現時点で小規模化していない小学校も含めて、大規模に校区の変更を行うということは難しいと考えています。
- ・ 隣接した小学校の児童数を平均化するような校区の変更を行って、一時的に小規模化を解消しても、全市的に少子化が進む中では課題として残ることになると考えています。
- ・ 「学校が近いから」とか「統合するかもしれないから」という理由での校区外通学は教育委員会としては認めておりません。皆様の周りでそのような話を聞くということはあるかもしれませんが、令和5年度に関しては校区外通学が過去実績と比べて明らかに増えたということもありません。
- ・ なお、どちらの学校に通うかを選択できる指定変更区域の設定については、新年度の直前まで入学者数と学級数が確定しないという点で学校運営面での負担が大きいため、必要性とのバランスを考えた上で、慎重に検討する必要があると考えています。

統合について

- 同じ豊平だから一緒にやろうという気持ちもわかるが、校舎が無くなってしまうこと、名前が無くなってしまうことを考えるとどうしても寂しいという気持ちが強い。
- 豊平小が生き残るだとか旭小が豊平小の傘下に入るだとかいうことではない。学校が無くなるという寂しい気持ちはわかるが、どちらの小学校も無くなって、新しく学校ができる、というのが学校統合の考え方だと思う。だから、お互いの良いところを持ち寄って、新しい良い学校を一緒に作っていくという気持ちで進めていけばよいのでは。

- 校名については、今後の話し合いで決めていくことだと思う。
- 感情として寂しい、残念だ、ということで納得できないのであれば、なかなか検討が進まない。
- 納得できない委員がいる中で検討委員会を続けるよりも、一旦白紙に戻すのも一つの考え方ではないか。

⇒【教育委員会】

- ・これまでの学校統合では、統合に際して学校名を新しくしている事例の方が多くなっています。また、敷地については、いずれかの学校のみが存続するというとらえ方ではなく、新たな学校をつくるという考え方です。
- ・小規模化している学校の教育環境を整えるということを目的に、現在検討委員会で協議していただいております。やむを得ない理由がないのに対応を先送りにすることは避けたいと考えています。次回の検討委員会までに、現地調査など含め皆様のご意見を伺いながら進めていきたいと思っております。

次回の検討委員会について

- ▶会議名 第4回 豊平地区 学校配置検討委員会
 - ▶開催日時 2023年(令和5年)12月15日金曜日 16時00分～17時30分
 - ▶開催場所 豊平会館(豊平区豊平6条7丁目1-12)
- ※検討委員のみが参加する会議のため、一般の方は入場できません。内容は後日ニュースレターやホームページでお知らせします。
また、日程は都合により変更となる場合があります。

次回(第4回)検討委員会の議題(予定)

- ▶第3回検討委員会の振り返り
- ▶地域や保護者の皆様から寄せられた声の紹介
- ▶実地調査の報告及び通学安全の課題整理と解決の方法の検討
- ▶その他、当日協議を行う必要があるもの

ご意見、ご質問は、下記事務局までお寄せください。

豊平地区 学校配置検討委員会事務局

- ▶札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課(学校配置マネジメント担当)
- ▶電話:011-211-3836 FAX:011-211-3837
- ▶e-mail: gakkokibo@city.sapporo.jp

検討委員会の開催概要は札幌市教育委員会のウェブページにも掲載しています。

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/toyohira.html>

学校規模適正化 豊平

検索



さっぽろ市
02-S01-23-1988
R5-2-1275

SAPPORO